

ベトナム 日本式周産期医療サービス 現地協力病院

1)日本式周産期医療サービスの提供方法

タイホア病院に専用診療スペースを貸借し、妊娠22 週段階で、日本式サービスの希望者のリクルーティングを行う。

妊娠後期（32 週～）からの妊婦健診および分娩の医療サービス提供を行った。タイホア病院の協力により、現地医師を数名確保し、日本式周産期医療のトレーニングを行うことで、基本的に診療は現地スタッフが行っていたが、葵鐘会医師および助産師も月に一度程度訪問し指導を行った。

ベトナム医師免許保持者の立ち会いの元であれば、外国医師ライセンスを持つ医師が診療行為を行うことは可能であるため、必要に応じて、葵鐘会医師が診療を行った。診療には、上記で示した日本製周産期医療機器を使用した。

タイホア病院の外観（1）

